

3月度生涯研修の抄録

世界の予防歯科、日本の予防歯科

神原 正樹 (大阪歯科大学口腔衛生学講座教授)

1. これからの歯科をどうイメージするのか

「これからの歯科医療」を考えると、2010年を目標とした健康日本21の歯科保健目標のうち、3歳児のう蝕のないものの割合を80%以上及び12歳児の一人平均う蝕数1本以下という両目標が、2005年の中間報告で、地域差があるもののほぼ達成されると予測される。この結論を頭に刻み込んでおく必要がある。すなわち、2010年には12歳までの幼児・児童・学生の口の中には、ほとんどう蝕がないことになる。国民にとってこんな素晴らしいこと

はないことになるが、一方、歯科医療側からは、現在の歯科医療技術が発揮できる疾患がないことを意味する。

う蝕がほとんどない人に、どのような歯科医療を提供するのか? これまでの歯科医療は、歯科疾患の対応に追われてきており、う蝕のない歯、すなわち健康な歯をほとんど診てこなかったことに気がつく。このことは言い換えると、歯科医療がはじめて、健康な歯を、口腔を診る時代を迎えていることになる。もともと、歯や口腔の予防や健康の保持増進は、歯科医療の本来の目的であるはずである。ようやくその

時代を迎えたことを喜び、べきである。そのためこれからの歯科には、疾患対象のこれまでの歯科医療とは異なる新たな診療 Philosophy やシステム、科学、技術の導入が必要になる。経験と勘に基づく歯科医療から、サイエンスとエビデンスに基づく歯科医療への転換である。

2. 初期う蝕診断の可能性

新たな歯科医療システムのキーは、健全な歯の部分に対して何が言えるのかである。健全な歯を診るとは、どのようなことを行うのか? 今後の歯科医療において管理すべき対象になるのは、可逆的う蝕の段階であり、修復処置とは異なるフィロソフィーと、手技、科学知識を必要とする。現在白斑、ホワイトスポットとして認識されている初期う蝕は、最近の診断機器で検出可能になってきている。

初期う蝕診断機器には、レーザー検出法 (DIAGNODent)、光透過法 (DIFOTI)、光誘導法 (QLF、ペンスコープ)、電気伝導法 (ECM)、電気的交流インピーダンス法 (ACIST) などが出現してきている。このうち、光誘導法 (QLF) は、エナメル象牙境界

部の蛍光物質に、ある波長の光を照射し励起される蛍光反射が、腕灰部で乱反射し、暗くなることを利用し、カメラから取り込んだ画像の画像処理により、定量的評価ができる唯一の機器である。初期う蝕の検出に続き、つぎに重要なのは、検出されたう蝕の活動性 (進行性、停滞性、回復性) を評価を行うことである。この評価はまだ確立されていないが、近い将来可能になると確信している。

う蝕の検出、評価、診断が可能になった後、現存する予防処置をより多様なものにする研究も必要である。また、健全な (N1、N2) を健全な状態まで保持増進する、臨床う蝕管理システムの構築も急務である。

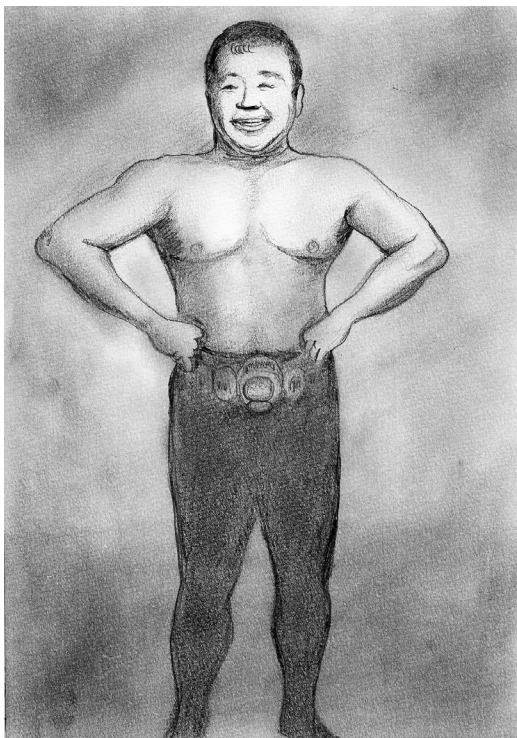
う蝕学のサイエンスの進展により、エビデンスが積み重ねられ、初期う蝕の検出が可能な時代を向かえたことは、疾患構造や社会構造の変化に対応する歯科医療の構築が迫られている中で、新たなパラダイムを持った歯科医学・歯科医療が創造できる幕が上がったといえる。このう蝕の変化をはじめとして、歯周疾患、咬合等の歯科疾患への対応ができるようになったとき初めて、表題への対応ができたといえる。



リレーエッセイ 218

プロレス・ラブ

矢野 善之 (高槻市)



絵 藤田 進 (河内長野市)

プロレス番組をテレビで見なくなって久しい。昔はゴールデンタイムに堂々生中継され、視聴率も20%を超えていた。それが徐々に深夜に追いやられ、今では30分枠になっていく。

80年代、金曜の夜8時にTVをつけると、タイガーマスクが天才的な動きで視聴者をひきつけた。8時30分前には若き日の藤波辰巳が躍動す

クネームからして素敵である。人間発電所、黒い呪術師、美獣、インドの狂虎、超人、荒鷲、書いていけるとキリがない!

しかし「プロレスラーは無敵」のイメージが、90年代になると徐々に壊れていく。アルティメット大会が開催されてから

を繰り返して、一般の人はプロレスなんて弱いのだと単純に思ってしまう。そもそも今の総合格闘技とプロレスは全く違うもので、総合は相手の技をいかに受けないかの競技、プロレスは相手の技を受けないで成り立たない競技。プロレスラーが違つて、格闘技イベントで格闘家とからむメリットは、やはりな

最近では老舗週刊紙も廃刊になるほどの業界を、劇的に変えられるような有望な人材の育成と、プロレスのよさを掘り起こすための努力があらたに必要に気がする。戦後の復興を支えた力道山の活躍。人々はプロレスに自分の姿を投影し、感動を得、明日からも頑張ろうと思ったはず

だ。藤波がマードックの姿をなぜか毎回必ず見失い、カーフブランディングを受けてしまったり、リックフレアーがトップロープに登るが、そこからの攻撃を誰も見たことがなかったり (必ず投げ落とされる)。そんな曖昧さに微笑み、プロディのニードロップのすごさに単純に驚く。

今は私も前ほどプロレスを見なくなりましたが、人を驚かせ、笑わせ、感動させる、プロレスの魅力は尽きることがない。一日も早いプロレスの復興を願う。

矢野善之先生ありがとございました。次回3月15日付は矢野先生の「推薦で砂野彰先生 (高槻市) にバトンタッチさせていただきます。」

物件案内

歯科医院譲渡

【所在地】泉佐野市。最寄駅は南海泉佐野駅、JR阪和線日根野駅

【条件等】2階テナントの1階部分、敷地面積374.48㎡、店舗面積126.63㎡、駐車場6台、パノラマ、レントゲン、口腔内カメラ、チェア4台設置可能 (配管済み) 1台は特設室、現在2台設置、レセコン、院内LAN済み、その他仕器・備品すべて揃っています。オールモリタ製品、院内内装ほぼ新品同様です。即開業可能

【連絡先】協会新聞部

掲載は協会会員に限り、内容の確認や条件などの交渉は当事者間で。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

確定申告対策講習会 「税理士任せにしない確定申告のポイントー税制の改定と医療税制の特殊性」

女性医師・歯科医師の集い」女性会員対象

今日の出産婦人科外来診療」

北河内地区総会・記念講演 「歯科医院経営の発展方策を探る」

南河内地区総会・記念講演 「インプラントの病診連携」

2月度生涯研修 「MI (ミニマルインターベンション) に基づく修復治療の最先端」

未入会者とは、協会に加入することができる歯科医師です

個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

※M&Dホールとは、医科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの愛称です。